

1階ホール 上映

台湾の現代美術映像や、日本の映画など、世界中のいろいろな映像作品がみられます。

監督が話をする日もあります。



デイヴィッド・ハモンズの芸術と時代
《THE-MELT-GOES-ON-FOREVER》
(監督ハロルド・クロックス、ジャッド・タリ)
2022年 / 101分
“David Hammons on 125th street”, 1981
©Michael Blackwood

地下1階 展示室

地下1階では、科学や言葉では

わからない新しい考え方や

まだ誰も知らない可能性を伝える

作品が見られます。

青木陵子 + 伊藤存の作品は、数学者の

岡潔さんの考え方をヒントにしています。

ロジャー・マクドナルドの作品は、心の

中を見つめることから美術を考えます。

こうした自由な発想や想像力が、未来の

旅の出発点になるかもしれません。



土屋信子
「マツモト建築芸術祭」展示風景、2022年
Photo: 木内和美



リッスン・トゥ・ザ・シティ
『内城川 (Naeseong River) の動植物図鑑』より
©Listen to the City

恵比寿映像祭

恵比寿映像祭は、1年に1回の映像と芸術のお祭りです。

2009年から はじまりました。

海外と日本の貴重な写真や映像作品、映画が見られます。

作家(作品をつくる人)の話を聞く事もできます。

音楽やパフォーマンスもあります。

恵比寿映像祭2024

毎年 テーマがあります。

今年のテーマは「月へ行く30の方法」です。

人がはじめて月に行ってから55年がたちます。

科学技術が進み、だれでもかんたんに月へ行ける時代が近づいています。

月へ行くためのヒントは、芸術家たちの考えや行動の中にもありそうです。

考えてみてください。

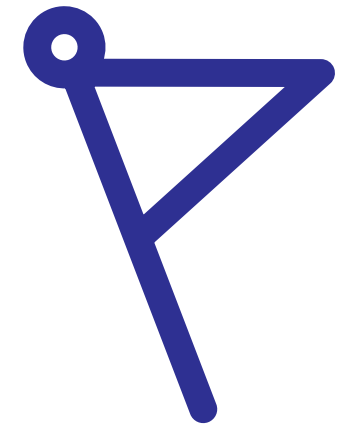
また、映像はくり返すことができる

芸術ですが、2階の中央エリアでは、そのときしか見られない作品を紹介しします。

土屋信子「30 Ways To Go To The Moon / 月へ行く30の方法」展(2018年)のタイトルより

恵比寿映像祭2024 月へ行く30の方法

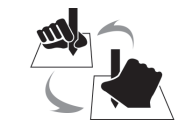
やさしい 見どころガイド



ピクトグラム例



手話マーク



筆談マーク



UDトーク



ユニボイス



恵比寿映像祭 WEB



東京都写真美術館 WEB

発行日: 2024年2月
編集・発行: 東京都写真美術館
やさしい日本語にした人: なかのけいこ(東京都写真美術館)

かい てんじしつ
2階 展示室

しゃかい との かわりかた や ぶんか が ちがう
いろいろな 作家の 作品を みる ことが
できます。

また、同じ 感じ方 を している ところ や
問題を 解決する ヒントが あるかも
しれません。

ちがう ところ や 同じ ところ を 感じながら
作品を 楽しんで ください。

ちゅうおう エリアでは、毎日、音楽や

パフォーマンス などが あります。

だれでも 参加 できます。

作家と コミュニケーションを したり、
いろいろ 想像して 楽しめます。



たかはしりん
高橋 凛
《Sculpture》2023年

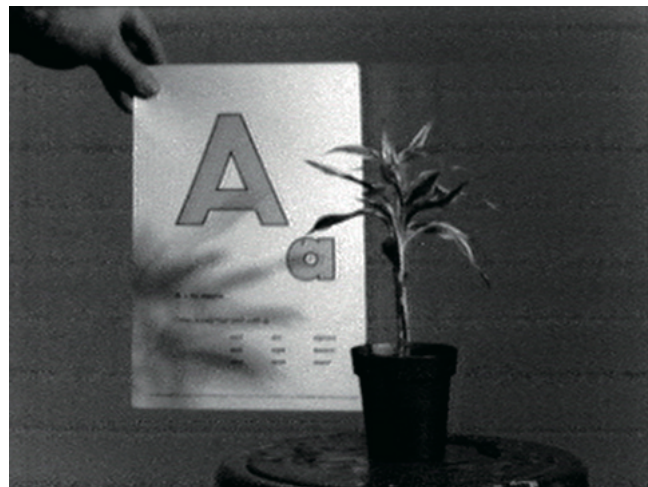
※写真は すべて イメージです。



あらかわ えい
荒川ナッシュ医
《Mega Please Draw Freely》2021年
テート・モダン、ロンドン
Photo: Rikard Österlund



コリー・アーケンジエル
《Drei Klavierstücke op.11》2009年
Photo: Arcangel Studio ©Cory Arcangel



ジョン・バルデッサリ
《植物にアルファベットを教える》1972年
Courtesy Electronic Arts Intermix (EAI), New York.

かい てんじしつ
3階 展示室

ここでは コミッション・プロジェクト 特別賞
の作家の 作品が 見られます。

あらき ゆう
荒木 悠 (ARAKI Yu)

きむ いんすく
金 仁淑 (KIM Insook)

コミッション・プロジェクトは

これからの 活躍が 楽しみな

作家を 応援するプロジェクトです。

2023年は、4人の 新しい 作家が 新しい
作品を 作り発表しました。

4人の中から 特別賞の 作家を 決めました。

2024年は 特別賞の 作家が、その年の

テーマにあった 作品を 展示します。

また、2025年に 作品を 発表する 作家を
決めます。



あらき ゆう
荒木 悠 《ROAD MOVIE》2014年
©Yu Araki / Courtesy of the artist and MUJIN-TO Production



きむ いんすく
金仁淑 《House to Home》2021年
トーキョーアーツアンドスペース、東京、2021年

トップ
TOPボランティアによる
「展示会場アテンド」

ちょうかくしょうがい ひと しかくしょうがい ひと
聴覚障害のある人、視覚障害のある人、
くるま ひと さくひん み てつだ
車いすの人が 作品を 見るときに お手伝いをする
ボランティアがいます。

ひつだん おんせいよ あ つか
筆談や、音声読み上げソフトを使います。
にほんご はな もう こ
日本語で 話します。申し込みしてください。



ひ にち 2月8日 (木) ・ 9日 (金) ・
15日 (木) ・ 16日 (金)

じかん 11:00~17:00

さんか ひと ちょうかくしょうがい ひと しかくしょうがい
参加できる人 聴覚障害のある人、視覚障害
のある人、車いすの人

にち くみ もうしこみ おお とぎ ちゅうせん
(1日4組・申込が多い時は抽選)

もうしこみ かく ひ かまえ
申込 各日の3日前までにメール
とうきょうと しゃしん びじゅつかん かかり
東京都写真美術館ワークショップ係
topsppp_1530062@topmuseum.jp

しゅわ つうやく つ
手話 通訳 付き

「たのしい」ギャラリー ツアー

てんじしつ
展示室を まわります。

がくげいん てんらんかい ひと
学芸員 (展覧会をつくる人) が、

わかりやすく 作品を 説明します。

にほんご はな
日本語で 話します。



ひ にち 2月8日 (木) ・ 11日 (日)

じかん 11:30~12:30

しゅうごう
集合するところ 東京都写真美術館
2階ロビー

さんか ひと
参加できる人 だれでも

もうしこみ
申込 いりません